

緑園地区

基本理念

つながりの輪を広げ 支え合い・助け合うまち緑園

目指すまちの姿

地域福祉活動の充実を図り、誰もが健康で安全・安心して暮らせるまち！

- 安全で健やかに過ごせるまち
- 地域・近隣で人・活動のつながりのあるまち
- 地域活動へ参加が進むまち



第4期計画の取組と成果

【活動全般】

第4期計画作成に当たり、5年間にやるべき事項について研修会を実施。また、横浜市まちづくりコーディネーター山路氏を講師に招き講演を実施。その中から取組課題を決定し、実行計画を作成して毎年見直しを行ってきた。主な新しい取組は広報活動の強化、子育て支援協議会設立、ふれあい健康づくり委員会設立と緑園地区社協30周年記念事業の実施及び記念誌の作成に取り組んだ。

【地域交流事業】

緑園福祉ふれあい祭りを中心に開催場所の変更や規模のコンパクト化を図り、趣味・文化的事業を織り込んだ開催内容に変更し、30周年記念事業として令和4年度に実施した。カラオケやダンスを中心に開催して来た「緑園ふれあいチャリティフェスティバル」はシニアクラブ連合開催の「緑園芸能祭」と重複のため、また、事業資金の収集は初期の目的を達成したことからの事業を中止することとなった。高齢者健康づくりの一環として実施していた「室内ゲーム大会」は、新型コロナ感染防止の観点で中止としてきたが令和5年度は再開した。

【子どもと高齢者】

緑園地区は急速な少子高齢化が進展していることから、特に「緑園地区子育て支援協議会」を設立し、新しい義務教育学校「緑園学園」に繋がる事業「緑園キッズフェスティバル」を中心に活動を展開する内容に変更した。令和4年度に30周年記念事業として緑園学園生徒12名の支援を頂き開催したが、令和5年度以降は「泉わくわく応援隊」の支援を頂き推進することとなっている。小学生見守り活動は活性化委員会の下部組織として「小学生見守り事業部」で活動し、年2回の情報交換会を実施し、通学路における児童の安全に取り組んでいる。高齢者見守り活動は、一人住まいの高齢者の増加が顕著なので、民生委員児童委員協議会と連携し、注力している。

【健康づくりと予防】

高齢化が進む緑園では、第4期の重点事業で「ふれあい健康づくり委員会」が中心となり、各自治会と連携し各公園を利用した「ラジオ体操」を推進し、令和5年度には全自治会で開催することができた。健康体操は人気が高く、毎回満員の状態が続いている。高齢者の食事会は、新型コロナ感染防止の観点から食事の提供中止が続いたが、令和5年度より再開し、ふれあい交流の場を提供している。

【支え合いと助け合い】

災害時要援護者活動は自治会が主体となり推進している。各種活動は新型コロナ感染防止の観点で中止の活動が多いが、施設訪問は令和5年度より再開し、令和6年3月に特別養護老人ホーム希望苑を訪問する。助け合い活動では緑園の基本理念である“つながり”で各種団体と連携し、推進している。近年、各種団体でも活動を支援しているボランティアの高齢化が著しいので、広報委員会を通じて地域住民からの“担い手”の募集を地域活動に合わせて行う。

今後取り組む内容・課題

中間年からの注力は重点事業の推進と地域住民の意見収集、ボランティア募集等がある。課題としては旧緑園西小学校の後利用や緑園周回バス運営協議会による子ども・高齢者の交通手段等があり、関係団体と連携し推進する。